

-生産者・スタートアップ・大学が語る、豊橋のアグリテック共創- Thursday Gathering（サースデイギャザリング）で 豊橋市企画のトークセッションを開催しました

全国のスタートアップから農業現場の課題解決につながる技術やアイデアを募集する「アグリテックコンテスト」への応募拡大を目指し、Venture Café Tokyo（ベンチャーカフェトーキョー）主催の「THURSDAY GATHERING（サースデイギャザリング）」で、豊橋市企画のトークセッションを開催しました。

トークセッションでは、生産者・スタートアップ・大学・自治体が一緒になって農業現場の課題に向き合う、豊橋ならではのアグリテック共創の取り組みを紹介。実際に実証に取り組む生産者やスタートアップに加え、豊橋技術科学大学からも登壇いただき、それぞれの立場から、農業現場の課題、技術の実証、大学の研究・知見が果たす役割などについてお話しいただきました。

会場とオンラインを合わせて約 50 名が参加し、豊橋の農業現場で技術やアイデアを試しながら取り組める環境を、多くの皆さんに知っていただく機会となりました。



左から喜多、中村氏、姫野氏、上原氏、金子氏



スタートアップとの取り組みを説明する中村氏（中央）

■ トークセッション概要

実施日時：令和8年9月10日（木）19:00～20:00

会 場：CIC Tokyo（東京都港区虎ノ門 1-17-1 虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー15階）

主 催：Venture Café Tokyo

企 画：国立大学法人豊橋技術科学大学、豊橋市

登壇者（敬称略）：

- ・中村ナス園 代表 中村 敏秀氏
- ・株式会社 WAKU 代表取締役 姫野 亮佑氏
- ・豊橋技術科学大学 人間中心アグリテック共創センター センター長/教授 上原 一将氏

- ・ デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社 金子 めぐみ氏
- ・ 豊橋市 地域イノベーション推進室 主任 喜多 亮介

内 容：

「農業現場の課題を、技術でどう変える？」をテーマに、豊橋で進むアグリテック共創の取り組みを紹介。実際に現場で技術を試す中で見えてきたことや、豊橋技術科学大学の研究・知見が技術の開発や実証に果たす役割について、登壇者それぞれの視点からお話いただきました。

■ 株式会社 WAKU 代表取締役 姫野 亮佑 氏のコメント

「アグリテックコンテスト」に応募した時点では、まだ製品もできていませんでした。受賞をきっかけに、生産者との接点生まれ、実際に農業現場で技術を試すことで、製品展開まで至ることができました。応募したことで、取り組みが大きく前に進んだと感じています。農業分野で新しいことに挑戦したいスタートアップの皆さんには、ぜひ応募してほしいです。

【参考】

■ Venture Café Tokyo（ベンチャーカフェトーキョー） について

Venture Café Tokyo は、“Connecting Innovators To Make Things Happen（イノベーター同士を結びつけて何かを起こす）”をミッションに、起業家や投資家など多様なイノベーターが集まり、社会に対してイノベーションを生み出すコミュニティです。

2010 年に米・ボストンで設立された CIC の姉妹組織「Venture Café」のアジア初拠点として、2018 年 3 月に日本での活動を開始。バブソン大学（米・ボストン）で教鞭を取る山川 恭弘准教授と、卒業生でもある小村 隆祐代表理事のリーダーシップのもと、国内最大のイノベーション促進/交流プログラムを東京・つくば・名古屋・岐阜・立命館大学大阪いばらきキャンパス・福岡において展開しています。

■ Thursday Gathering（サースデイギャザリング） について

Thursday Gathering は、毎週木曜日 16 時から 21 時の間で CIC Tokyo において開催される Venture Café Tokyo の主力プログラムで、ネットワーキングの機会とセミナー等のイベントとを組み合わせで行われます。

最先端を行くイノベーター達による講演やイノベーションを加速させるワークショップ等を通じて参加者は学びを得ながら、そこで得た共体験を根子にネットワークを広げることが可能です。

問合せ先 産業部地域イノベーション推進室 室長補佐 小野（電話 0532-51-3155）